

第15回 富山県河川整備計画検討委員会における主な意見と対応

平成31年3月28日(木)10:00～11:30

項目	意見	内容	対応
<仏生寺川水系河川整備基本方針(案)について>			
治水	数値の設定について	計画規模の年超過確率1/50をどうやって決めているのか。 基本高水はどのように決められているのか。	県管理河川では河川砂防技術基準に基づき、流域の資産状況等を考慮して、定めている。 昭和25年から平成26年までの65年間の実績降雨データから、本流域の代表的降雨を概ね含有する降雨継続時間である6時間雨量の年最大値を確率処理して、対象降雨を定める。 実績降雨波形を対象降雨量に引き伸ばして流出計算を行い、基本高水のピーク流量を260m ³ /sとした。
利水	河川改修に伴う取水について	河川改修により水位が下がり取水に影響が出てくるのではないかと配慮してほしい。	なるべく河床高が変わらないように配慮をしている。取水については、随時関係者と協議しながら進めていきたい。
環境	魚類のデータについて	提示いただいたデータが古いものである。市では、毎年調査を行っているのですがそのデータがないと現状が分からないのではないかと。また、多自然型工法を採用した箇所での希少動植物の生息状況の追跡調査結果を示してほしい。	これまで改修工事を実施してきた箇所を含め、専門家の意見をいただきながら事前・事後調査を実施し、希少生物への影響を調べている。